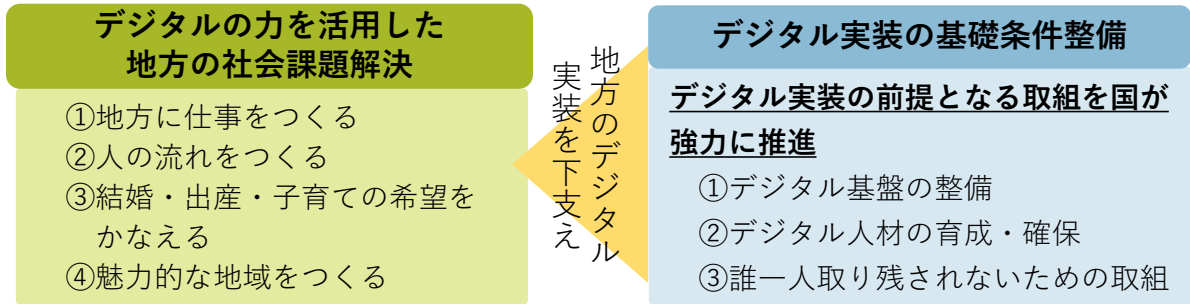


1 デジタル田園都市国家構想総合戦略（総合戦略）

○国では、人口減少・少子高齢化、過疎化・東京圏への一極集中などの課題解決を図るため、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す「デジタル田園都市国家構想」の実現を掲げている。

○「デジタル田園都市国家構想」の実現に向けて、デジタルの技術の活用によって、地域の個性を生かしながら、地方の社会課題解決や魅力向上の取組を加速化・深化させるべく、2022年12月に「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改訂し、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定している。

< デジタル田園都市国家構想総合戦略の方向性 >



2 地方版総合戦略

○まち・ひと・しごと創生法に基づき、都道府県は国の総合戦略を勘案し、市町村は国・県の総合戦略を勘案し地方版総合戦略を策定することとされている。（努力義務）

○策定にあたっては、「総合計画」と「総合戦略」は別に策定することが基本であるが、**総合計画の目標が、人口減少克服・地方創生と合致し、数値目標を設定する計画であれば一体的に策定することも可**となっている。

< 参考 > 愛知県まち・ひと・しごと創生総合戦略2023-2027 基本目標

- | | |
|--------------------|------------------|
| ① しごとづくり | ② 魅力づくり |
| ③ 人の流れづくり | ④ 結婚・出産・子育て環境づくり |
| ⑤ 暮らしの安心を支える環境づくり | ⑥ 活力ある地域づくり |
| ⑦ 県全体のデジタル化の推進（新規） | |

3 本市の状況

○第2期豊田市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2021年度～2025年度）は、**第8次豊田市総合計画の後期実践計画と始期を合わせ、連動して取組を推進している。**（計画図書は別冊としている）

第9次豊田市総合計画「ミライ実現戦略2030」は、人口減少や少子化への対応、本市の魅力づくり、産業（しごと）振興といった視点にフォーカスしており、総合戦略の目的と一致しているため、以下のとおり策定する

策定の方向性

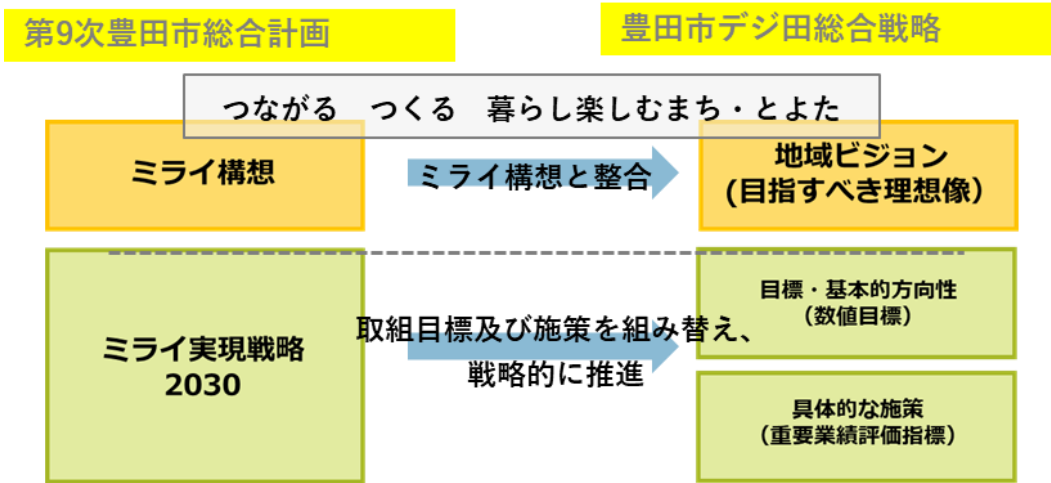
①第9次豊田市総合計画の策定に合わせ、第2期豊田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の終期を1年前倒し、**総合計画と一体的な次期総合戦略を策定**する。

②総合戦略の構成及び基本目標は、国・愛知県の総合戦略を勘案するとともに、第9次豊田市総合計画との整合を図る。（**「ミライ実現戦略2030」との関係表を作成**）

③計画期間は**5年間**とする。

④総合計画図書上に、計画の推進に関わる関連情報として掲載する。

【総合計画との一体的な策定イメージ】



【総合戦略の構成・基本目標】

つながる つくる まち・とよた

○「つながり」によって、多様な価値や可能性を創出するまち
○「チェンジ（変化）」と「チャレンジ（挑戦）」によって、しなやかに変化し続けるまち

【基本目標1】しごとづくり
【基本目標2】人の流れ・賑わい・ 地域への愛着 づくり
【基本目標3】結婚・出産・子育ての希望を叶え、 こどもの成長 を支える
【基本目標4】 人生100年時代をいきいきと暮らせる 魅力的な地域をつくる
【基本目標5】持続可能なまちづくり
デジタル技術の活用による取組の下支え